

近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所
資料配付

配布日時	平成22年10月18日 18時30分
------	-----------------------

件名	国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区で セアカゴケグモが発見されました
----	-----------------------------------

概要	<p>本日15時頃、当公園甘樫丘地区豊浦休憩所付近でセアカゴケグモが発見されました。</p> <p>発見された個体は1個体で、発見箇所周辺に他の個体は確認されませんでした。</p> <p>園内に注意喚起のための掲示等を行うとともに、園内の点検を行って参ります。</p>
----	--

取扱い	_____
-----	-------

同時配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政記者クラブ 橿原市政記者クラブ
--------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所 調査・品質確保課長 三井 雄一郎 総務課長 矢野 俊哉 TEL 0744-54-2662 FAX 0744-54-2772
------	---

国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区でセアカゴケグモが発見されました。

■ 発見の概要は以下のとおりです。

(発見日時) 平成22年10月18日15時頃

(発見場所) 国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区豊浦休憩所付近

※ 周辺を点検いたしましたが、他の個体の生息は確認されませんでした。

■ 以下の対策を実施して参ります。

- ホームページ、看板等により、ご来場の皆様に絶対に素手で触らないように注意喚起を図ります。
- また、万一咬まれたときに、直ちに公園管理センター（0744-54-2441）にご連絡いただくか、近くの係員にお知らせいただくよう、周知を図ります。
- 園内の他地区の点検をいたします。

■ 発見箇所周辺の様子

- 甘樫丘地区豊浦休憩所周辺の園路上で発見されました。



セアカゴケグモとは



●生態

熱帯地方を中心に分布するクモで、毒を持っています。
沖縄県以外の日本では発見されていませんでしたが、平成7年（1995年）に大阪府内で初めて発見されています。

●特徴

- 雌 成体の雌は体長（脚を含まない。）が約1cm、形態的には、脚が長く、腹部が球形で大きい。光沢のある黒色又は暗褐色を基調とし、腹部の背面に赤色の“砂時計”様、又は“鼓（つづみ）”様の模様がある。
- 雄 成体の雄は体長が約3～5mm、腹部は白色を基調として2本の黒い縦縞がある。

●生息場所

日当たりがよく乾燥した、適度な隙間がある比較的地面に近い場所へ、不規則網で複雑に張られた三次元構造を持つ巣を張ります。粘り気が強くしっかりとした糸を張るため、落ち葉などがからまっていたりします。

- ・側溝の内部や、その網蓋のすき間
- ・フェンスの基部
- ・花壇のブロックの内部
- ・墓石のすき間
- ・自動販売機やエアコン室外機などの機器と壁とのすき間などに営巣する。

●注意事項

- ・セアカゴケグモを見つけても、素手でさわったり、捕まえたりしないでください。

セアカゴケグモに咬まれたら

セアカゴケグモに咬まれたときの対処法

●患部を流水で洗い流し冷やす



●患部を冷やしなが**ら病院へ直行！**この時
加害生物(セアカゴケグモ)も持参する。



●全身症状が現れた場合はセアカゴケグモ
抗毒素血清を注射
(局所症状だけならば注射の必要はありません)

【局所症状】

- ・ 咬まれた直後は局所の痛みはほとんどない。刺し口が一つ、または二つ見つかる場合がある。
- ・ 通常、咬まれてから5～60 分の間で局所痛が現れ、次第に痛みが増強する。
- ・ 時間と共に痛みが四肢全体に広がる。(30 分から数時間のうち)
- ・ 局所の発汗、しばしば熱感、搔痒感も伴う。主には痛みを伴う。

【全身症状】

- ・ 全身症状を示す者はごく一部。
- ・ 一般には徐々に症状が進行し、12 時間以上かかって全身症状を示す。
- ・ 重症になるのは小児、高齢者、虚弱体質の者。
- ・ 主要な全身症状は痛み。他に、嘔気、嘔吐、発熱、不眠症、めまい、頭痛、全身の発疹、高血圧、下痢、喀血、呼吸困難、重度の開口障害等。

※治療の際に重要なことは、セアカゴケグモに咬まれたかどうかの確認です。